

**世界最大の青果企業・米国Dole社の
アジア・青果事業及び
グローバル・加工食品事業の買収**

2012年12月25日

伊藤忠商事株式会社

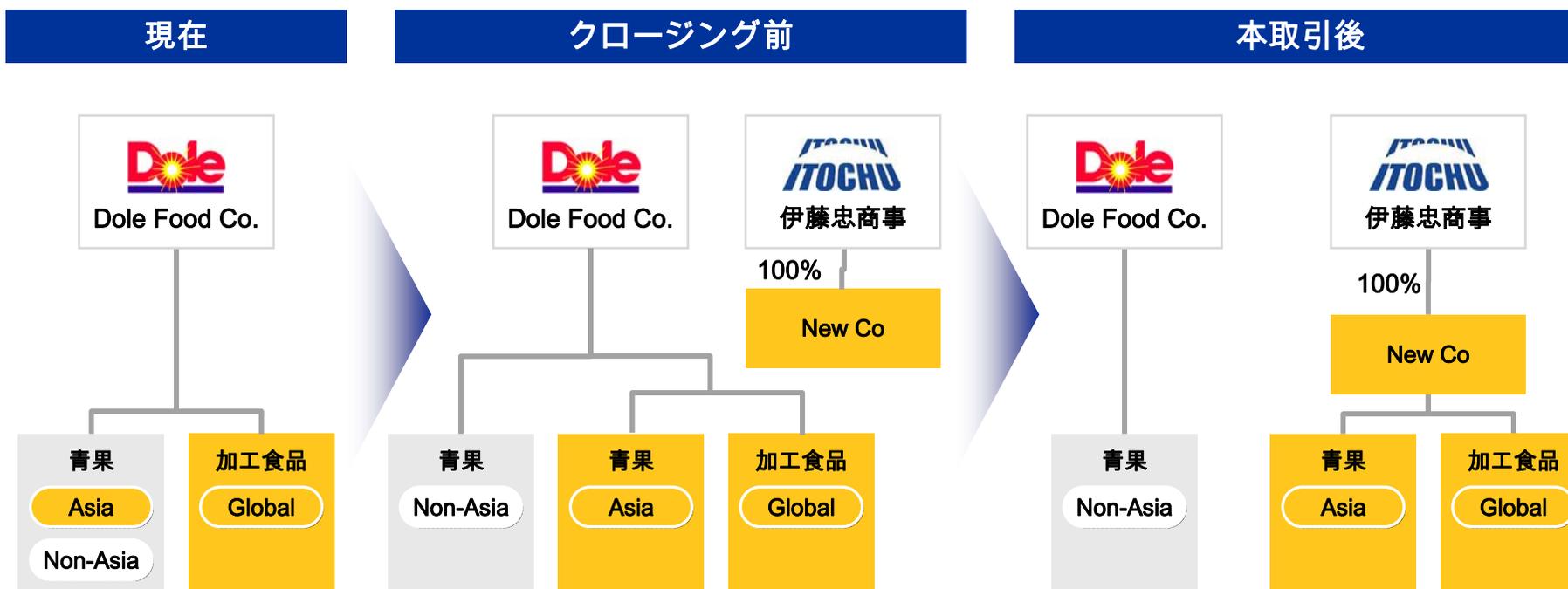
食料カンパニー

目次

1.案件概要とスキーム図 3
2.本件の背景と目的 4
3.対象事業の概要 5・6
4.アジア・青果事業について 7
5.グローバル・加工食品事業について 8
6.買収後の成長戦略 9
補足資料 10・11

1. 案件概要とスキーム図

- ・ 投資対象事業： Doleのアジア・ 青果事業とグローバル・ 加工食品事業（以下、対象事業）
- ・ 買収価額： 16.85億ドル（約1,350億円）
- ・ 出資比率： 100%



2. 本件の背景と目的

本件の背景

- 今年5月3日、12年度第一四半期決算公表時に、Doleは更なる株主価値向上の為、既存事業の一部スピンオフ、またはIPOを含めた「Strategic Business Review」を発表、その選択肢のひとつとして対象事業のパートナーを探していた
- 伊藤忠は50年来、Doleと取引を行っており強い信頼関係を構築してきた
- 両社検討の結果、互いの経営資源を持ち寄ることにより成長著しいアジア市場を中心に、対象事業の更なる成長が見込めると判断した

本件の目的

- 伊藤忠が持つグローバルな生産・加工・流通・販売体制を活用し、Doleが持つブランドや青果生産・加工・販売といった経営資源を融合させ、より強固で広範囲なバリューチェーンを構築
- 創業者であるジェームズ・ドールのモットーのもと、Doleと伊藤忠がそれぞれの地域においてDoleブランドを共有し、世界に「**美と健康**」を基本コンセプトとした高品質な食品をお客様にお届けすることを目指す

創業者であるジェームズ・ドールのモットー

「私たちの会社は、クオリティ、クオリティ、そしてクオリティの上に築かれる」

3. 対象事業の概要



Dole Food Company

- フルーツ、野菜、加工食品の世界的大手企業
- グループ売上 : 72.2億ドル (FY2011)
- グループEBITDA* : 3.9億ドル (FY2011)

本取引の
対象資産

青果事業 / 北米・欧州等

アメリカ、カナダ、英国、
ドイツ、フランス、
スペイン、南米など

青果事業 / アジア

日本、韓国、中国、オーストラリア、
ニュージーランド、タイ、シンガポール、
インドネシア、マレーシアなど (30カ国以上)

加工食品事業 / グローバル

世界各国
(70カ国以上)

財務数値
FY2011

-

売上 : 12.9億ドル
EBITDA** : 0.7億ドル

売上 : 12.0億ドル
EBITDA** : 1.2億ドル

商品



*一時損益による影響を除く

**一時損益による影響及び本社コストを除く

3. 対象事業の概要



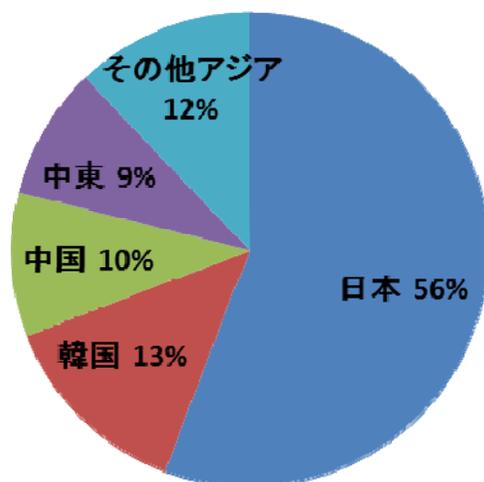
事業内容	青果：バナナ・パイナップル等の果実、野菜の販売 (アジア) 加工食品：果実関連加工食品の販売 (世界)				
販売地域・国	アジア、北米、ヨーロッパなど全世界70カ国以上で展開				
従業員数	約34,000名				
農場	フィリピン(約32,000ha)、タイ(約12,000ha)、スリランカ等 ※契約農園含む				
加工工場	フィリピン：2ヶ所、タイ：2ヶ所、北米：3ヶ所 (協力工場 (OEM先) タイ：1ヶ所 (Dole専用)、中国：16ヶ所)				
流通・加工拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・ パッキング施設：約400カ所、冷蔵保管設備：約80カ所 ・ 専用港湾設備(バース/コンテナヤード)、専用契約船舶 ・ アジア各国に追熟/加工及び物流拠点50カ所以上を保有 				
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界的に認知度の高いブランド名及びトレードマーク ・ 「美と健康」への貢献 				
財務 FY2011	<p style="text-align: center;">FY2011 実績</p> <table border="0"> <tr> <td>売上</td> <td>24.9億ドル(約1,990億円)</td> </tr> <tr> <td>EBITDA*</td> <td>1.9億ドル(約150億円)</td> </tr> </table>	売上	24.9億ドル(約1,990億円)	EBITDA*	1.9億ドル(約150億円)
売上	24.9億ドル(約1,990億円)				
EBITDA*	1.9億ドル(約150億円)				

*一時損益による影響及び本社コストを除く

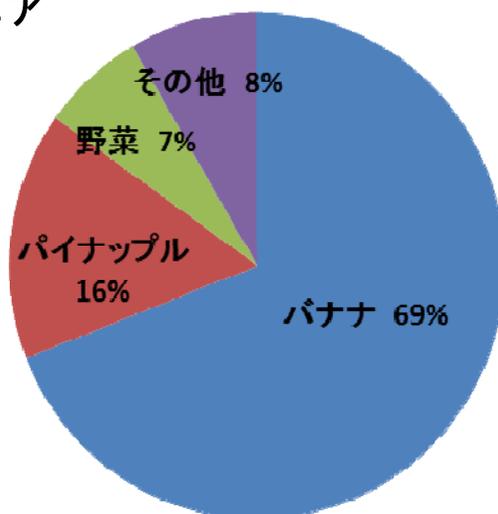
4. アジア・青果事業について

2011年売上高：12.9億ドル

国別売上シェア



商品別売上シェア



- 同事業はアジアの主要国において1位・2位の市場シェアを獲得している

国	商品	市場シェア
日本	バナナ	31%
	パイナップル	53%
韓国	バナナ	30%
	パイナップル	26%
中国	バナナ	12%
	パイナップル	48%

- 農場2万ha以上(契約農家を含む)
- パッキング施設約400カ所、冷蔵保管設備約80カ所
- 専用港湾設備(バース/コンテナヤード)、専用契約船舶
- アジア各国に追熟・加工、物流拠点約50カ所

< 財務数値 >

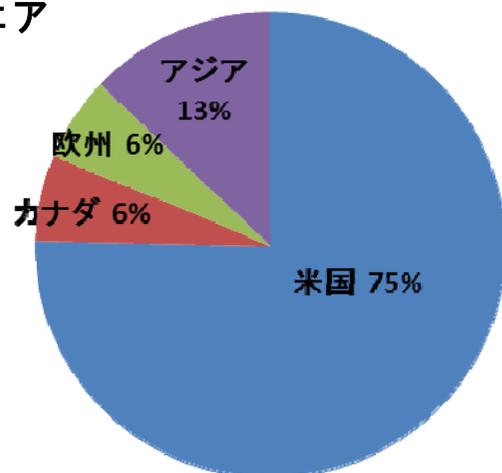
	2011(実績)
Revenue	12.9億ドル
EBITDA*	0.7億ドル

*一時損益による影響及び本社コストを除く

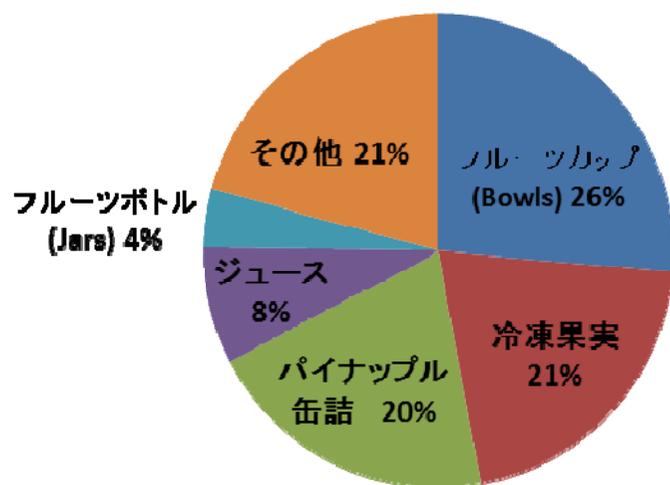
5. グローバル・加工食品事業について

2011年売上高：12.0億ドル

国別売上シェア



商品別売上シェア



- 北米において果物加工食品市場でNo.1のポジション

商品	北米市場シェア
パイナップル缶詰	56% (1位)
パイナップルジュース	57% (1位)
フルーツカップ (Bowls)	49% (1位)
フルーツボトル (Jars)	54% (1位)

- フィリピン(1.2万ha)、タイ(約1.2万ha)の農場から原料調達(契約農家含む)
- フィリピン、タイ、北米に7工場保有
- Box Plantなども自社で保有
- Mrs.May'sを買収し、自然食品事業を拡大中

< 財務数値 >

	2011(実績)
Revenue	12.0億ドル
EBITDA*	1.2億ドル

*一時損益による影響及び本社コストを除く

6. 買収後の成長戦略

1 Doleブランドを最大限活用したビジネス展開

- 伊藤忠が食料分野で初めて取得するグローバルブランド「Dole」の価値を活かし、「**美と健康**」を基本コンセプトとした果実・野菜原料の健康食品など新しい商品の開発・販売、繊維分野で培ったブランドビジネスのノウハウによるライセンスビジネス、更にはDoleブランドを活用した国内農業活性化など新たな事業領域への展開を図る

2 伊藤忠の流通インフラ・バリューチェーンによるDole既存商品の販売拡大

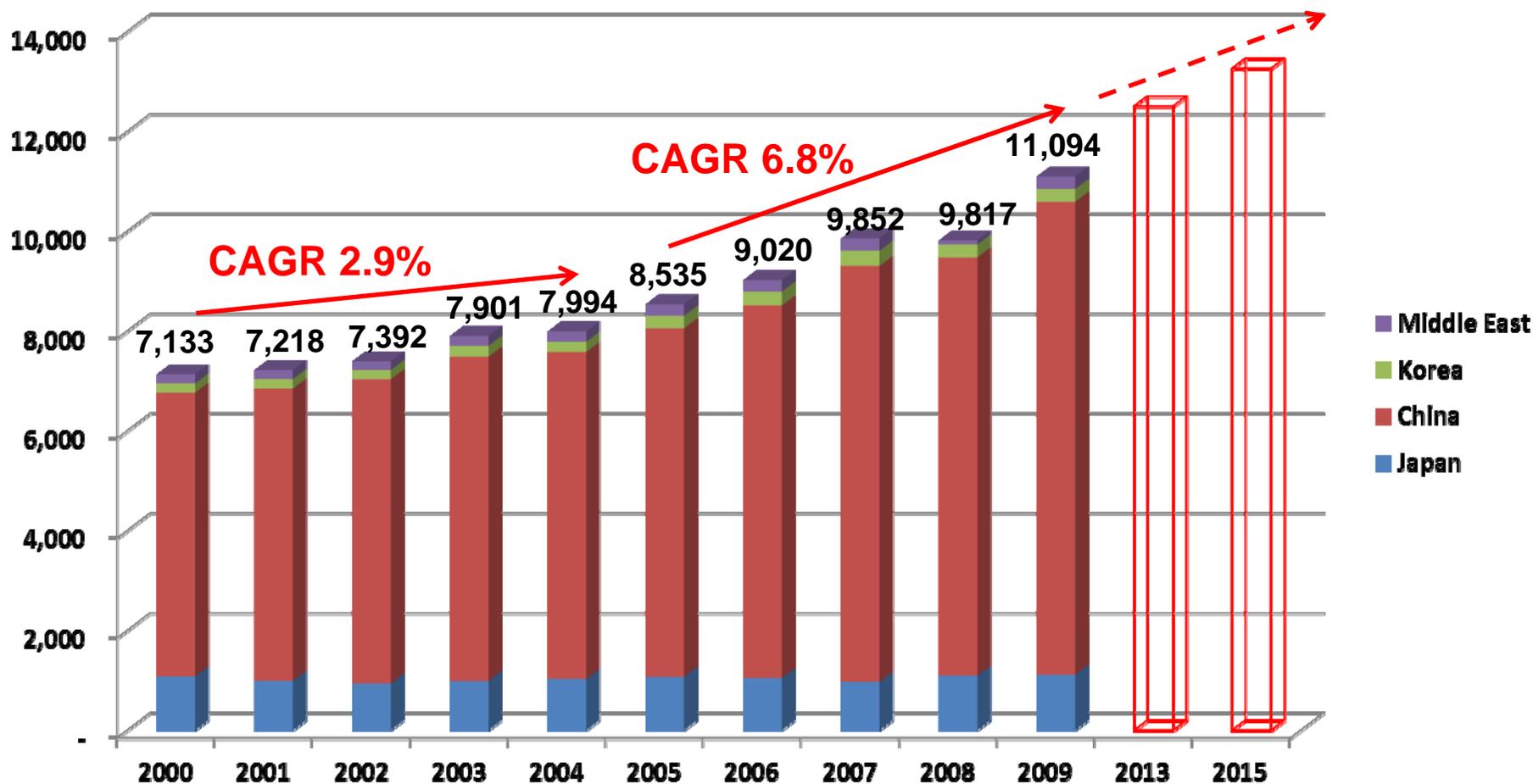
- 伊藤忠のネットワークを活用し、中国を筆頭に更なる成長が見込まれるアジア市場においてグループの流通インフラと各国の最適なパートナーとの共同のマーケティング・ディストリビューションにより、既存のDole青果・加工食品の販売拡大を加速する

Doleブランドを活用した新たな事業展開を推進し、従来の対日/内需型のビジネスモデルから、グローバルビジネスモデルへの転換を実現、アジア最大の農産物（生鮮、加工）インテグレータを目指す。

(参考) バナナ市場規模推移

アジア各国・中東におけるバナナ消費量の推移

単位:千トン

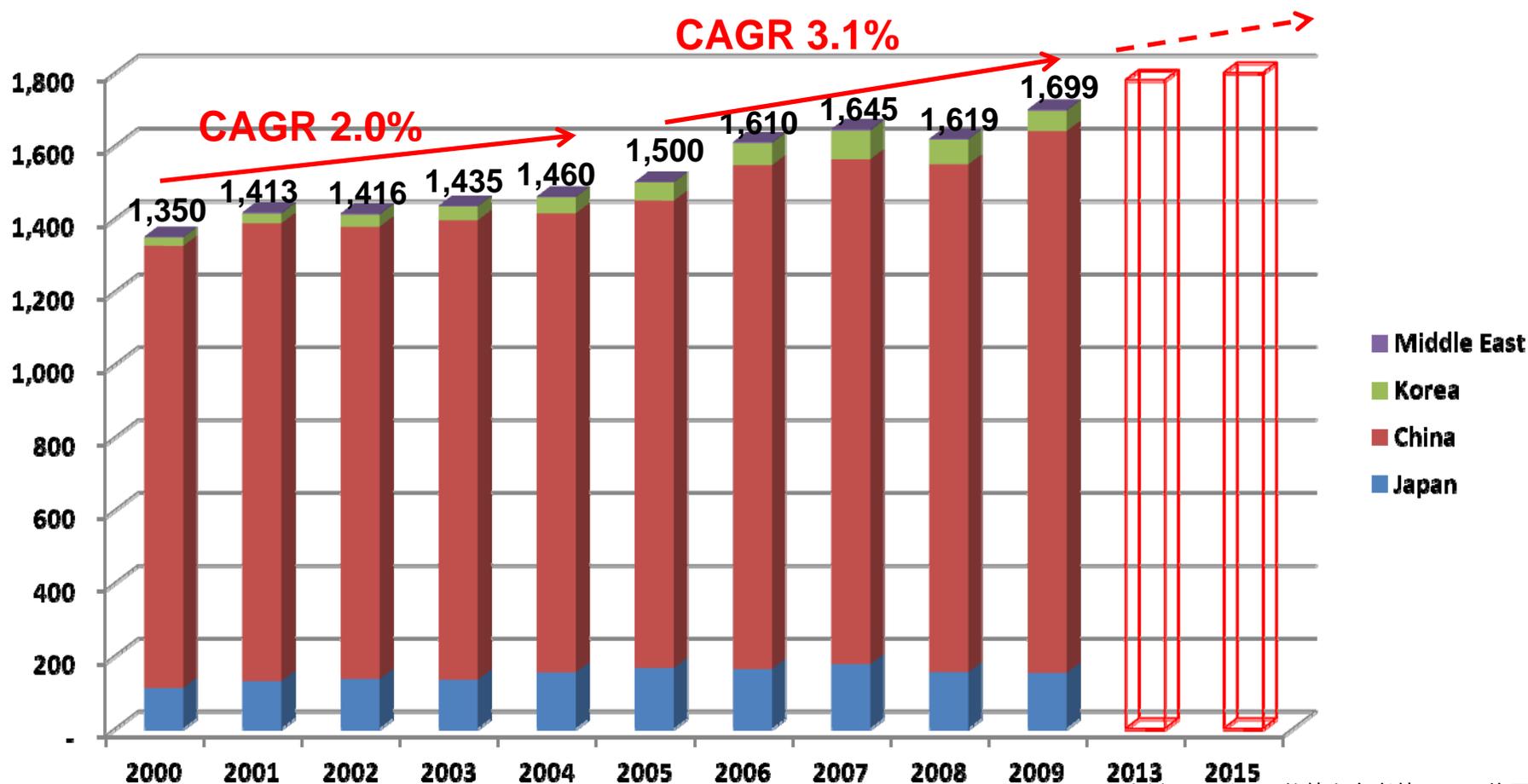


※Middle Eastはサウジアラビアの数値を参考値として使用
出典「FAOSTAT」

(参考)パイナップル市場規模推移

アジア各国・中東におけるパイナップル消費量の推移

単位:千トン



※Middle Eastはサウジアラビアの数値を参考値として使用
出典「FAOSTAT」

見通しに関する注意事項

本資料に記載されている当社の計画、戦略、見通し及びその他の歴史的事実でないものは、将来に関する見通しであり、これらは、現在入手可能な期待、見積り、予想に基づいています。これらの期待、見積り、予想は、経済情勢の変化、為替レートの変動、競争環境の変化、係争中及び将来の訴訟の結果、資金調達の継続的な有用性等多くの潜在的リスク、不確実な要素、仮定の影響を受けますので、実際の業績は見通しから大きく異なる可能性があります。従って、これらの将来予測に関する記述に全面的に依拠することは差し控えるようお願いいたします。また、当社は新しい情報、将来の出来事等に基づきこれらの将来予測を更新する義務を負うものではありません。